

◆編集・発行

茨城町 町長公室 秘書広聴課
〒311-3192
茨城県東茨城郡茨城町小堤1080
☎ 029-292-1111
メールアドレス
ibarakit@town.ibaraki.lg.jp

◆人口

住民基本台帳
令和4年7月末現在
男 15,701人
女 15,618人
総人口 31,319人
世帯数 13,432世帯

◆茨城町民憲章

- ふるさとの自然を守り、美しい環境の町をつくりましょう。
- からだをきたえ、教養を高めて、すこやかな町をつくりましょう。
- 隣人や家庭の愛を大切にしてい、まごころのかよい合う町をつくりましょう。
- 自分の仕事に責任と誇りを持ち、活気に満ちた町をつくりましょう。
- 文化遺産を愛護し、先人の努力に感謝できる町をつくりましょう。

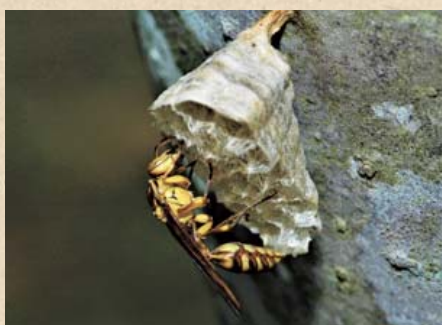
- ◆町の花 桜
- ◆町の木 梅
- ◆町の鳥 うぐいす

- ◆町の防災行政無線が聞き取れなかった場合
防災行政無線テレフォンサービス
☎0800-800-8848
(通話料無料)

町ホームページにも放送内容を掲載しています。

◆町の情報発信中!!

- 町公式ホームページ
<https://www.town.ibaraki.lg.jp/>
- 町公式ツイッター
<https://twitter.com/IbarakiTownMati/>
- 町公式Instagram
https://www.instagram.com/townibaraki_official/



里山に育む生きものたち

No.121 ホソアシナガバチ
(ムモンホソアシナガバチ)
(スズメバチ科)

学名 *Parapolybia indica indica*
Saussure

写真・文 小菅 次男

苦しい思い出のハチ。茨城今から30年以上前の自然の。城立さん少年自然の家（自然の家）が創設されたころ、小学生の間も自然の観察会として呼ばれたことがあり、自然観察会に講師として呼ばれたことがある。この昆虫を観察するために、林の中の草むらに入ったり、木の葉から「ギャー！」という叫び声が入った。ナガバチに刺されたのか、事なきを得たので、観察会での事前調査が、かには必要かを思い知らされた。強烈な経験で。

名はそこから来ています。本州、四国、九州に広く分布し、低山や里山などに見られ、住宅地などには少ないハチです。い印象が細いため、弱々しい目に似合いません。攻撃的に見え、目が細い。特に巣の面があり、特に出る。あるところから知らずに踏みます。農作業や樹林の下草刈りなどで刺されることがあります。

▼巣造りと子育て
スガ1匹で巣造りを見せ、メバチを重ねて多くの働きバチを生ませます。幼虫の餌は、肉団子に似たもので、巣の中心や縁の低木、草の葉裏などに作り、淡褐色で長く湾曲して、扁平で、背面は湾曲して、全体には細くてまとまりのない形です。よくサバチとも呼ばれます。

▼集団で越冬
メスだけが羽化した新成虫。冬場所に移るまで、巣の入り口を閉じ、その間に越冬します。過半数は越冬し、数個の越冬したメスに報告されておられる。まことに報告は驚きです。

▼ハチ刺されに要注意
私達はスズメバチに刺されたいと大変だが、慌てると弱く見えて、実はアシナガバチの馬鹿刺で、さきまを度々刺さる場合があります。死傷事故も起る場合があります。

▼秋に越冬
メスだけが羽化した新成虫。冬場所に移るまで、巣の入り口を閉じ、その間に越冬します。過半数は越冬し、数個の越冬したメスに報告されておられる。まことに報告は驚きです。

ちびっ子アート ひぬま保育園



「たのしかった花火」
あべ たつき (5歳)



「たのしかったスイカ割り」
きむら みゆき (6歳)